記念卓話「Light Up Rotary」

2014-15年度国際ロータリー

会長　黄其光（Gary C.K. Huang）

今、世界中でロータリーは、200以上の国と地域に34,000以上のクラブがあります。我々は、一緒になって、ポリオを撲滅する為に、きれいな水をもたらす為に、平和の為に、世界で多くの奉仕活動を行っています。

中国のことわざに　我々は黄土変成金、一条心三人　があります。

「もし人々が一つの心で行動するならば、黄色の地球でさえ金に変わるかもしれない」

このことわざがある限り、人々がひとつになれば、どのような目標でも達成できることを教えてくれます。

別の中国の話で、すぐに死ぬことを知っていた老人の話があります。彼は、彼の村の賢者に会い、彼は、「あなたは天国と地獄はどのようなものか教えてもらえますか？」と尋ねました。

賢人は、奥深い田舎に、不思議な経路で彼を案内しました。最後に、彼らは多くの部屋がある大きな家を見つけその中に入りました。

賢い選択によって、この家では、以前からあなたが望んでいた大勢の人々や巨大なテーブルに多くの食物を見つけました。

しかし、何かがとても奇妙でした。人々のすべてが長さ12フィートのたいへん長い箸を持っていますが誰もが空腹でとても痩せていました。

彼らは自分で食事をしようとしますが、もちろん、彼らはそのような長い箸では口に運ぶことが出来ません。その後、老人は「今、私は地獄がどのようなものか知っています。あなたは天国がどのようなものか見せてくださいますか？」と賢人に言いました。

最初に、彼らがよく似た別の大きな家を見つけるまで、賢人は、彼をさらに同じ道を案内しました。この家では、みんな、とても長い、12フィートの箸を持っていましたが、だれもが美味しい食事ができ、とても幸せでした。

それを見た老人は、たいへん驚き「ここのすべての人々が12フィートの箸を持っていますが、彼らは美味しい食事ができ満足していますが、私にその理由を教えてください。」と尋ねました。

賢者は、「天国では、私達はお互いに食べ与えます。」と答えました。

国際ロータリーには、様々なサービスが構築されています。

すべてのプロジェクトは、ロータリーでは大きな建物を構成している一つ一つのレンガです。そして、ロータリーの友情は、レンガのすべてを固定しているモルタル、すなわち接着剤と同じです。

私たちはロータリーの会員について説明するときなぜ、これほど多くの人々がロータリーに参加するのかその理由について話します。

それは、世界中のあらゆるクラブで、また一人一人、異なっています。

しかし、それが何であれ、ロータリーが私たちにもたらしたことは、すべては友情が基にあるということです。

私たちは毎週ごとを、私たちの友人と共に奉仕のチャンスを得るため活動を行っています。

講師は何千年も前の偉大な中国の哲学者でした。

しかし、私はいつも、彼のアイデアの多くをロータリー活動の中で見つけることに驚いています。

彼は、「あなたが好きな仕事を選んでください。そして、あなたは人生で毎日仕事することはありません。」と述べました。

ロータリーでは、これもまた真であると言えます。付け加えますと、ロータリーの為にあなたが好きな仕事を共に行動する良き友人を見つけてください！」このような友人を見つけることは大変難しいことです。しかし、それでもあなたは偉大なことを実現します。

私は、この考え方は、ロータリーでの成功の背後に数多くあると感じています。

それはロータリーがユニークな存在だからです。

その理由は中国語では次の通りです。

如果人生没有朋友、就等干没有太阳。

友人のいない生活は、太陽のない人生です。

時々、私は孔子を世界初のロータリアンと呼びます。それは、ポール・ハリスが生まれるおよそ2500年前に亡くなったことは問題ではありません！

彼は、すでにポール・ハリスが私たちに教えていることと、同じことを考えていました。

そして、その一つは、彼が言った「興其抱怨、不如改變」です。

英語で言いますと、

「それは、座って暗闇を恨むよりも、一本のろうそくを点灯することをお勧めします。」

それは、我々がロータリーに思うすべてのものをまとめています。世界には多くの問題、助けを必要とする多くの人がいます。

そして、多くの人々が言います。

「私にできることは何もない、彼らはそこに座って、何もしない、すべては暗いままです。」

しかし、これはロータリーの活動ではありません。ロータリーの活動は、孔子の教えそのものです。

ロータリーの奉仕の精神は、一つのろうそくを点灯すことです。私は１つ灯し、あなたも１つ灯します。

１２０万人のロータリアン、一人一人が一つの光を。

我々は共に、世界を灯すことができます。私は皆様のこれまで以上さらに多くの点灯（奉仕）を願っています。

（鳥栖RC４０周年記念式典における記念卓話より抜粋）